

国際関係事業の概要（令和7年度事業報告）

国際委員会委員長 今井 智満

ITA 活動等への参加などを通じて、トンネル技術に関する各国の情報収集、わが国からの情報発信及び国際協力に努めた。

（1）ITA 小委員会

委員長 砂金 伸治

- ①ITA を通じてわが国のトンネル技術情報を積極的に発信するとともに、各種作業部会(WG)に参加するなど ITA の場の活用に努めた。
- ②2025 年 5 月に開催された第 51 回 ITA 総会（スウェーデン・ストックホルム）に参加し、わが国のトンネル技術情報を積極的に発信するとともに、作業部会（WG）で活動した。また、同時に開催された WTC2025 において、団体会員 14 社と共同で技術展示を実施し、トンネル技術に関する情報交換を積極的に行った。会誌 2025 年 10 月号でその結果を報告した。
- ③2026 年 5 月に開催される第 52 回 ITA 総会・WTC2026（カナダ・モントリオール）への対応方針について検討した。
- ④わが国のトンネル技術の存在感や影響力を国際的に高めるため開催を誘致した ITA 理事会を、2025 年 12 月にわが国で行うとともに、それに合わせて国際トンネル技術特別講演会「世界から見たトンネルの現状と最近の話題」を開催した。会誌 2026 年 3 月号で講演会の概要を報告した。

（2）海外情報小委員会

委員長 福井 勝則

- ⑤トンネル技術に関する海外の雑誌のニュースおよび記事を抽出、翻訳して会誌に掲載した。
- ⑥わが国のトンネル技術を積極的に世界に発信するため、「Tunnelling Activities in Japan 2026」の編集作業を開始した。
- ⑦海外に向けた情報発信を強化するため、引き続き英文ウェブサイトの充実に努めた。